

新高教

# 青年ペーパー

新潟県高等学校教職員組合  
新潟市中央区川岸町 2-11-4  
TEL:025-265-4151  
FAX:025-231-1036  
Mail:shinkoukyou@beach.ocn.ne.jp  
青年部担当 浅川 智之

## 制度定着？ 人事評価制度・上位成績率

### 勤勉手当率上位検証

8月9日に総務課給与係と勤勉手当上位成績率の運用検証を行いました。12月に高齢層、6月に若年層が適用されているのは、退職者は12月適用とすることから。また、6月の適用者が少なくなっているのは、3月の推薦後に知事部局への異動(異動先で集計されている)や育休に入る方がいるためと説明を受けました。特段の理由がなく上位成績率を適用されなかった人数が昨年に比べ、大きく少なくなっています。(「普通に頑張っている」が2回連続で上位推薦から外れることは考えがたい」とされています。)今後も管理職による恣意的な運用がなされないよう検証を続けていくとともに、労使での確認事項が守られるよう交渉の継続が必要です。

### 上位の成績率区分の適用者数

全体	18.12	19.06	合計
対象者	4,907	4,909	4,908
適用者	2,485	2,404	4,889
割合	<u>50.6</u>	<u>49.0</u>	99.6

### 性別ごと

	18.12	19.06	計
	人数	人数	人数
男	1,590	1,455	<u>3,045</u>
女	895	949	<u>1,844</u>

### 年齢別

年齢別	18.12	19.06	計	職 員 構 成
	人数	人数		
～24	3	20	23	0.5
25～29	33	<u>113</u>	146	3.0
30～34	88	<u>129</u>	217	4.6
35～39	155	165	320	6.7
40～44	358	347	705	14.6
45～49	500	540	1,040	21.2
50～54	565	560	1,125	22.5
55～	<u>783</u>	<u>530</u>	1,313	26.9
平均年齢	49.4歳	47.0歳	48.2歳	

### 上位成績率を1回も適用されなかった人数

	18年度	17年度
全体	206人	230人
特段の理由無し	<u>8人</u>	50人

要となる。渉・検証が重要となる。

※16年度より人事評価制度が導入、新潟県では勤勉手当上位成績率の運用が行われている。他県等では上位が3割、標準の率を下げて上位の原資へ、などといった運用が行われているが、新潟県では扶養手当を原資として上位成績へ配分しているため、標準の率を下げることもなく上位率を5割推薦として運用されている。5月に行われた総務管理部長交渉の中で「まずは扶養手当を原資として制度の定着を…」と部長が発言しており、今後労使で確認をし、開始した運用が一方的に変更されないよう、交渉・検証が重要となる。

### 青年部関係集会の紹介

- 8/4～8/5 (福井)  
～北プロカリキュラム編成講座～
  - 9/28～9/29 (東京)  
～高校教育シンポジウム～
  - ◎10/5～10/6(東京)  
～日教組 TOMO-KEN～
  - 10/12～10/13 (岡山)  
～平和集会～
  - 11/16 (東京)  
～教育改革全国キャンペーン～
  - ◎11/23～11/24(福井)  
～北陸ブロック青年討論集会～
- ◎は特にお勧め

青年部クイズ②  
マ → よ 山 → ?  
ハ → あな シ → え  
木 → ざい  
わかった人は本部まで  
正解者には抽選ですてきな  
プレゼントが・・・(9月末締切)

## 友に学ぶ・共に学ぶ 全国の友(仲間)とつながろう!!

### 第11回 TOMO-KEN

#### — 青年教育実践交流集会 —

通称「トモケン」。参加者一人ひとりが実践や課題、悩みをもち寄り、2日間かけて青年どうして語り明かします！様々な職種・年齢の参加があり、少数職種の方も参加しやすいです！

とき 2019年10月5日(土)～6日(日)

ところ 日本教育会館(東京都千代田区三ツ橋)

内容 1日目 全体会・分科会・夕食交流会

- \*分科会 ① 学校・学級づくり
- ② 子どもに寄り添った授業づくり
- ③ 「平和・人権・環境・共生」
- ④ 協力・協働の職場づくり(働き方改革の視点を含め)

特別分科会 部活動、地域のスポーツ活動、文化活動(少年部など)

2日目 分科会

### ～第10回 TOMO-KEN 参加者の声～

「困っている自分だけじゃないのかな?」こんな話をしているのかな?」と思っていましたが、話をすると、みんなが一緒に悩み、考えてくれて、アドバイスをくれて、とてもうれしかったです。

「前は友と呼ぶ、というのは本当にどうだなぁと思い悩んだ。同じような思いも持った方々と出会うことができ、それぞれの知っていること、どいぶん知っていること、なやんでいることなどを共有することができて、本当に勉強になりました。

全国の仲間と「とことん」語り合える!それが TOMO-KEN!!

### 急募

連絡お待ちしています  
一人でも友達とでも可(未組もOK)



## 青年層の声を県へ 青年部交渉に向けて 実態調査を実施します。

同封の職場実態調査を本部へ郵送または、  
分会長の方へ渡してください。

※9月30日必着